

別紙標準様式（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	平成28年度 第1回枚方市国民健康保険運営協議会
開 催 日 時	平成28年8月18日(木) 14時00分から 15時10分まで
開 催 場 所	枚方市役所 別館4階 特別会議室
出 席 者	<p>(委員)</p> <p>会 長 大矢野 修</p> <p>委 員 生島 勝利・田岡 昭子・板床 美榮 中川 正博・藤本 良知・稲垣 勝則 垣内 成泰・中川 恒夫・長谷 晋吾 門前 武彦・宮川 敏夫・平田 隆朗 宗像 利之</p> <p>(市)</p> <p>副市長 長 沢 秀 光</p> <p>健康部長 白 井 重 喜</p> <p>健康部参事(兼)次長(兼)国民健康保険室長 真 鍋 美 果</p> <p>健康部次長 西 岡 美 砂 子</p> <p>国民健康保険室課長 池 田 芳 敬</p> <p>国民健康保険室課長 藤 本 久 美 子</p> <p>(事務局)</p> <p>国民健康保険室課長代理 清 水 澄 一</p> <p>国民健康保険室係長 寺 本 佳 史</p> <p>国民健康保険室係長 水 盛 智 恵</p>
欠 席 者	<p>(委員)</p> <p>植 村 芳 子・田 中 直 樹・門 川 清 秀 多 田 淑 子・朝 倉 洋 子・三 浦 一 志</p>
案 件 名	<p>1. 国民健康保険の現状について（報告事項）</p> <p>2. その他</p>

提出された資料等の 名 称	1. 次第書 2. 委員一覧表 3. 座席配置図 4. 平成 28 年度第 1 回国民健康保険運営協議会資料 ・資料 A 国民健康保険特別会計 ・資料 B 平成 27 年度取り組み実績について
決 定 事 項	国民健康保険の現状について協議した。
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表 の別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者 の 数	2 人
所 管 部 署 (事 務 局)	健康部 国民健康保険室

審 議 内 容		
議 事 局 議 長	長	<p>定刻の午後2時になりましたので、ただ今から平成28年度第1回枚方市国民健康保険運営協議会を開催します。</p> <p>それでは、まず、事務局から、委員の出席状況について報告を求めます。委員の出席状況について報告します。本日の会議、ただいまの出席委員は14名であります。以上で、報告を終わります。</p> <p>ただ今、報告がありましたとおり、出席委員は定足数に達しておりますので、ただいまから平成28年度第1回枚方市国民健康保険運営協議会を開会します。</p> <p>まず、最初に、ご報告させていただきます。本日の協議会に対しまして傍聴の申し出がございましたので、これを許可しております。ご了承願います。</p> <p>前回の協議会から、これまでに、委員の交代がありましたので、事務局から、紹介をお願いします。</p> <p>それでは、委員の交代がありますので、ご紹介をさせていただきます。</p> <p>4月15日より公益代表として、早川保子委員にかわり、三浦一志委員に、ご就任いただいております。なお、三浦委員につきましては、本日、所用のため欠席されております。以上で、新しい委員のご紹介を終わります。本日の欠席ですが、三浦委員のほか、公益代表の植村芳子委員、朝倉洋子委員、薬剤師代表の多田淑子委員、被保険者代表の田中直樹委員、門川清秀委員につきましては、所用のため欠席されております。続きまして、市側の出席者を紹介させていただきます。</p> <p>長沢枚方市副市長、白井健康部長、真鍋健康部参事兼次長兼国民健康保険室長、西岡健康部次長、池田国民健康保険室課長（資格納付担当）、そして、私、国民健康保険室課長（総務給付担当）の藤本です。その他、国民健康保険室の担当者が事務局として従事しております。どうかよろしくをお願いします。</p> <p>それでは、長沢副市長からご挨拶申し上げます。よろしくをお願いします。</p>
長 沢 副 市 長		<p><input type="text" value="挨拶"/></p>
藤 本 課 長		<p>ありがとうございました。恐れ入りますが、長沢副市長は公務が重なっているとのことで、ここで退席させていただきます。</p>
議 事 局 議 長	長	<p>それでは、ここで会議録の署名委員を指名します。署名委員は、中川正博委員及び稲垣委員を指名させていただきます。よろしくをお願いします。</p> <p>それでは、ただいまより、議事に入ります。はじめに、次第の1.「国民健康保険の現状について」を議題とします。市担当者からの説明を求めます。</p>
藤本・池田課長		<p><input type="text" value="説明"/></p>
議 事 局 議 長	長	<p>これから、ご質問、ご意見等をお受けします。ご質問、ご意見は、あり</p>

<p>委員</p>	<p>ませんか。</p> <p>3点質問させていただきます。1点目は、P11 平成 27 年度取り組み実績 2. 国民健康保険料の収入確保「徴収率向上対策検討プロジェクトチーム」について、枚方市としての成果や目標値があれば教えていただきたい。2点目は、P2(2)保険給付の状況②一人当たり療養諸費の推移について、平成 26 年度から一人当たり額が、急速に伸びた理由を教えてください。国保新聞には、一人当たり医療費が伸びた理由を高額薬剤、中でも C 型肝炎新薬の影響が大きいとありましたが、枚方市も同様の理由ですか。3点目は、P6(4)財政状況の平成 27 年度単年度収支 5 億 8 千万円の黒字は、経営努力で補助金が増えたということでしたが、これは全国的な傾向なのか、枚方市の努力によるものなのかを教えてください。</p>
<p>真鍋室長</p>	<p>1点目について、徴収率向上対策検討プロジェクトチームは、枚方市全体としての目標値を設定するというのではなく、前年度までの滞納繰越分を中心とした債権回収について、徴収に係る各課のノウハウを共有することを目的としています。2点目について、平成 27 年度に高額薬剤の影響や新薬の認可が進んだ結果、調剤だけで 5 億円の増加となっていることから、本市も同様の影響を受けていると考えられます。3点目について、国の調整交付金の中に、特別調整交付金があり、様々な課題が示されています。単年度黒字や保健事業推進など細かい項目があり、採点化されます。点数の高い上位 15 市町村は、大阪府からの推薦を受けた結果、補助金が交付されます。平成 27 年度、本市は該当したため、通常の補助金とは別に、2 億 600 万円の増額となりました。また、一般会計繰入金の広域化準備財政安定分（赤字解消を行うための繰入金）5 億円の影響もあり、単年度黒字となっています。平成 30 年度の国保広域化までに、赤字解消をするため、平成 27 年度に赤字解消計画を策定しました。平成 26 年度末で、赤字額 16 億円となっており、収納率向上や保健事業だけで解消は難しく、一般会計の力も借りて、解消していきたいと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>2点目の補足説明になりますが、C型肝炎や抗がん剤、特殊な高脂血症の新薬などにより、薬剤費が増えることで、今後、薬価の改正は何年かに一度ですが、高額な薬剤に関しては、改正の時期に限らず、薬価を下げ、患者さんには適用疾患を厳格にし、医師には、ライセンスや経験のある医師に限って使用するなどの動きがあると思われます。枚方市国民健康保険だけの問題ではなく、他の保険者も同じ状況であります。</p>
<p>委員</p>	<p>P8特定保健指導の実施状況について、平成27年度動機付け支援実施率7.9%と減少しています。このような状況になることは、特定保健指導の実施前より想定されていたことでもあります。今後、実施率を増加させていくための方策があれば教えてください。</p>

真鍋室長	平成27年度の実施率は、暫定の数字であります。平成26年度より低いと思われま。積極的支援は、保健センター、動機付け支援は、委託業者で実施されています。場合によっては、委託の見直しや仕様の変更も検討していく必要があると思われま。
委員	保健指導の必要な人が多くて、保健指導を受けている人が少ない状況が問題であり、もっと簡略化して、受診しやすい方策やシステム作りなども検討してください。
真鍋室長	保健指導の案内を結果通知と一緒に郵送していますが、保健指導を受けようと思っていただくための方策を考えていき、皆さまからの意見も頂けたらと思いま。
委員	特定健診は、日頃より医療機関を受診している人は、必要ないところがあります。その点については、どうですか。
藤本課長	医師会と連携して、医療機関を受診していても年1回は、受診券を使い、特定健診を受診するように進めて頂いていま。
委員	P8③人間ドック費用助成事業の状況について、平成27年度は、平成26年度から助成件数が減少していま。人間ドックと特定健診の併用受診件数も含まれていま。人間ドックは、検査項目も多く、また殆どがオプションで、使い勝手が悪いのも受診件数が増えない要因ではないかと思いま。
真鍋室長	人間ドック費用助成は、人間ドックにおいて、特定健診に相当する検査を受け、その結果を証明する書面の提出があった場合は、特定健診を受診したものとみなして、申請により1件7,500円を助成していま。市内の13医療機関では、人間ドックと特定健診の併用受診が可能で、人間ドックの費用から特定健診の項目の費用を差し引いた金額が請求されるので、申請不要となっ。また、その場合は、特定健診を受けたものとしてカウントしていま。どのような形になれば、人間ドックを利用しやすいと思われま。
委員	助成金と検査項目が少ないことが受診件数増加の最大の阻害要因であると思われま。受診件数が増えれば、病気の早期発見につながり、医療費も減るのではと思いま。
真鍋室長	特定健診は、国の決めた制度であり、必要な検査項目が決められていま。枚方市独自に追加した検査では、腎機能、心電図等の検査項目があります。
委員	枚方市独自追加項目は、枚方市の国民健康保険のみで、後期高齢者医療保険や社会保険にもありません。枚方市民であれば、どの保険に属していても、同じサービスを受けることは、できませんか。
真鍋室長	実施主体は、保険者ごととなるため、難しいです。
委員	P1①世帯数等と加入率について、国保被保険者数が、減少している点

真鍋室長	<p>については、どのように考えますか。</p> <p>枚方市の人口が、若干減少していることありますが、年齢の偏りかとも思われ、75歳以上の後期高齢者医療保険へ、スライドしている部分が多いと思われ、74歳以下の人口は、減っており、今後も国保被保険者数の減少が、続いていくと思われ。</p>
委員	<p>人口動態と並行して、減少が続いていくのは、枚方市だけですか。若年層が、減ってきているのですか。</p>
真鍋室長	<p>国民健康保険の被保険者の動向だけを申し上げますと、全国的に、今後も被保険者数は減少し、高齢化率も増えていくと思われ。</p>
委員	<p>医療費が増加する一方で、被保険者数が減少していることは、個人負担の増加につながり、また国保の財政運営への影響も懸念されるが、どのように考えていますか。</p>
真鍋室長	<p>このような国保の構造的な問題は、全国的な課題でもあることから、財政安定化のために、平成30年度に国保が広域化されます。</p>
議長	<p>ご質問、ご意見は、この程度に止めます。</p> <p>続きまして、案件2.その他について、事務局より何かございますか。</p>
藤本課長	<p>本協議会の次回の日程についてお知らせします。次回は、来年の2月上旬を予定しております。主な案件としては、平成29年度の保険料に係る賦課総額等について、諮問させていただき予定でございます。日程等が決まり次第、改めて通知させていただきますので、よろしくお願い致します。</p>
議長	<p>それでは、委員の皆さまからは、何かございますか。</p> <p>ありがとうございました。これで、本日の案件はすべて終了いたしました。よって、本協議会は、これをもちまして閉会します。委員の皆様、ありがとうございました。</p>